

令和6年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立おなづか小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・一人ひとりが授業に対して自分の思いや願いがもてるような支援をすることができた。
- ・植物や生き物を観察する中で、児童が視点をもって観察することができた。
- ・園児と実際に関わる活動を通して、相手に思いを寄せ意欲的に活動することができた。また、その中で自分自身の良さに気付いた。
- ・植物や生き物の飼育栽培を通して、命の大切さや生き物に対する愛着心を育てることができた。

(2) 課題

- ・様々な活動を通して、その子なりの気付きはあるが、さらにその気付きを深めるためには、教師の声かけや問いかけが必要である。
- ・「できたこと」「分かったこと」「もっとやってみたいこと」を出し合うことで、児童の思いや願いを尊重した活動の展開が十分にできるようにする。
- ・学習のまとめや発表では ICT を活用するなど、多様な方法で表現できるように工夫する。

2 分析（観点別）

① 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・生き物について調べたり、世話をする方法を工夫したりしていた。 ・季節により生き物や、自然が変化していく様子など、生活の中で身に付けている知識が少なく、体験が不足している様子が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校探検の活動を通して、身の回りには、みんなで使うものがあることや、自分たちを支える人々がいることに気付いた。 ・動植物を育てる活動を通して、それらが生命をもっていることや、成長していることに気付き、大切にしていこうという思いをもった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが育てている動植物が成長してほしいという願いをもって継続的に世話をした。 ・学校探検では、自分からすすんで声を掛けたり、学校を案内したりしようとする姿が見られた。また、案内される側は、目的をもって探検することができた。

3 授業改善のポイント（観点別）

低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・動植物の変化や様子に目を向けさせるよう、意図的に声を掛けるようにする。 ・自分自身や友達のよさに気付かせるために、協働活動を多く取り入れる。 ・具体的な活動や体験を行うにあたり、校外での学習活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カードや紙芝居、模造紙にまとめる、ICTの活用など、多様な方法で表現できるように支援する。 ・伝える相手のことを思い浮かべながら、伝え方を工夫することができるようになる。 ・保護者や地域と連携した活動を計画したり、地域人材を活用したりすることで、地域に愛着をもつことができるようにする。 ・気付いたことを適切に表現できるように、見る視点を全体で共有する。また、他教科の学習と関連させるなどして表現力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の「こうしてみたい。」「もっと、こうしたい。」といった思いや願いを生かした授業展開を行う。 ・2年間を見通して、系統的な指導を行うことで、指導の効果を高める。 ・児童の気付きを見取るために、友達同士で見せ合ったり対話したりする時間を確保する。